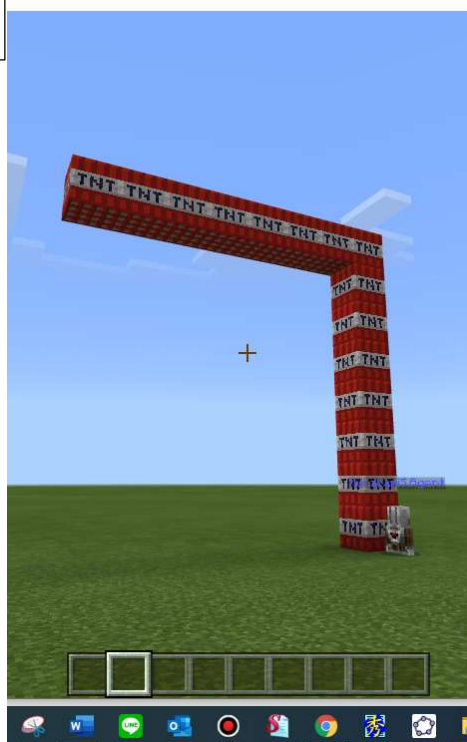


奇数個のブロックを並べよう！



ここがポイント

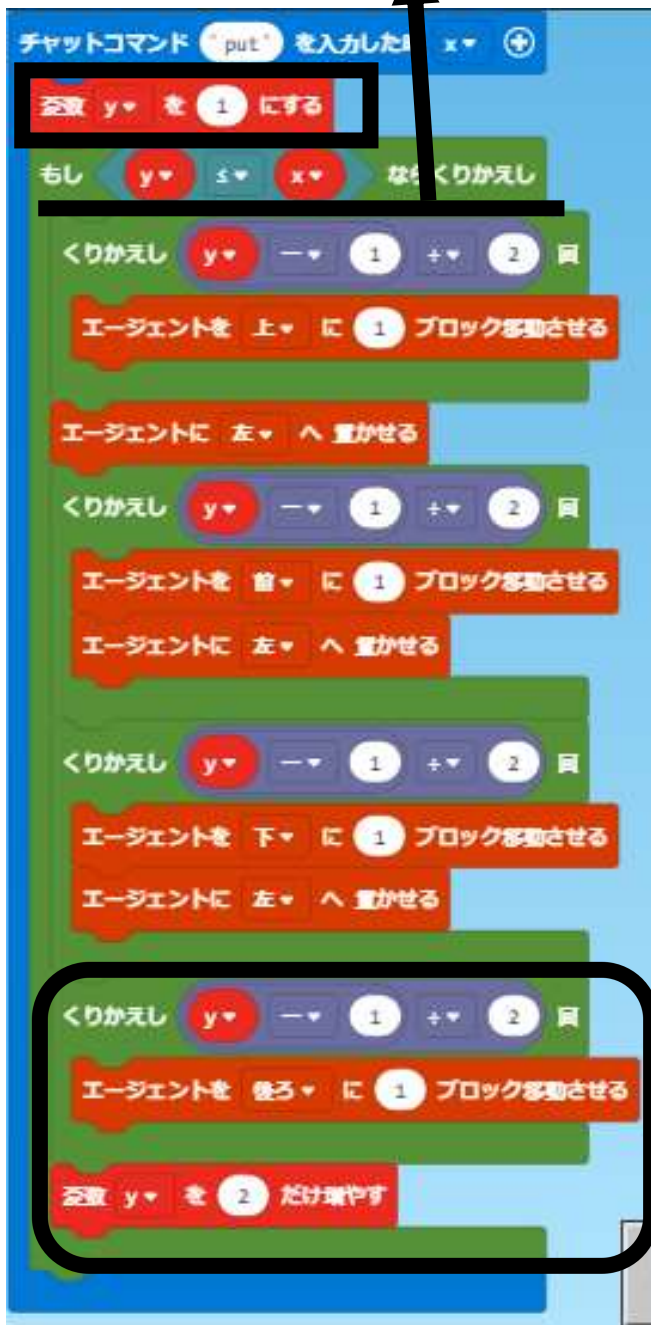
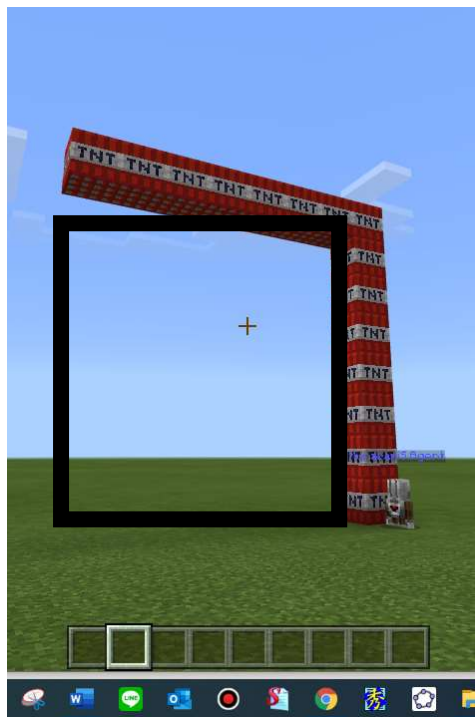
「put 15」を入力したとき



正方形を作ろう

正方形を埋めるには、変数を2個使う
変数は入力用とプログラムの中で動く用(y)
プログラムの中で動く用は、必ず初期値を宣言する

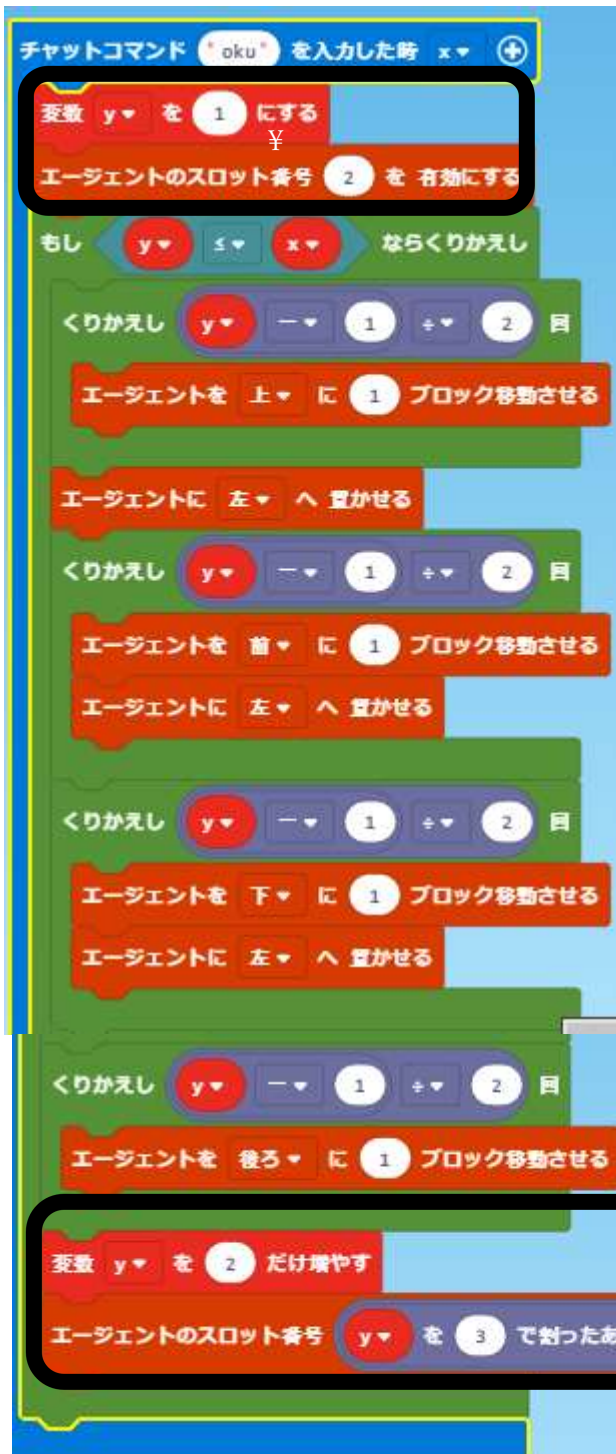
入力した x よりも小さい間は
y を2ずつ増やして行って、くり返すという
枠をつかう



変数を2ずつ増やしていくのは、初期値が1なので、3, 5, 7...と奇数だけ数字が増えていくことを意味する。

色を変える

エージェントに3つのブロックをもたせてください



このように プログラミングとは簡単なものを積み上げてつくっていく

こうした取り組み方を学んでいきましょう